

(3) 濁川

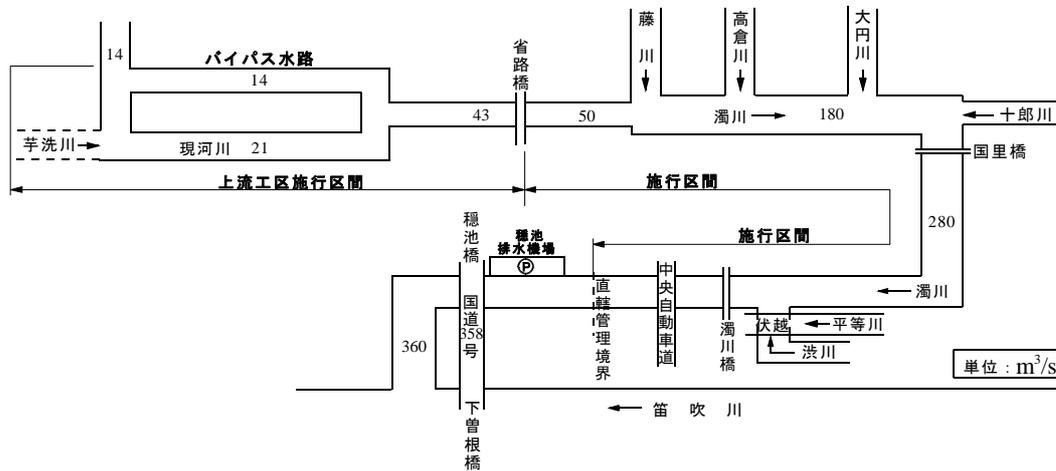
濁川は人口・資産が集中する甲府市を流下する河川であり、流域内の都市化が著しいことから、計画流量は、年超過確率1/50年規模の洪水を考慮して、笛吹川合流点において $360\text{m}^3/\text{s}$ とし、河道で $360\text{m}^3/\text{s}$ を計画高水位以下の水位で安全に流下させるものとします。

河川工事の実施にあたっては、河床に起伏をつけたり、魚類の移動経路を確保します。また、現況の河道内樹木が洪水流下の妨げとなる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響に配慮しつつ伐採するなど、適切な処理を行い多様な河川環境の整備を図ります。

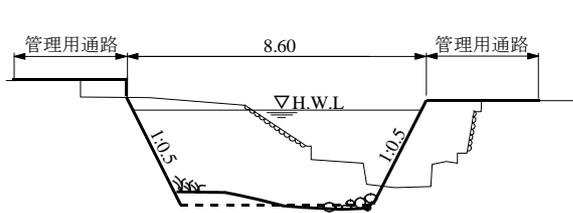
なお、濁川(上流工区)については、河道改修とバイパス水路の整備を行い、下流と同様の治水安全度を確保するものとします。

河川工事の実施にあたっては、川沿いに人家が近接するため、極力周辺施設への騒音・振動等の影響を少なくするよう工夫して進めます。

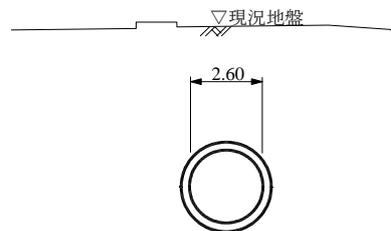
河川工事の施行の場所	河川工事の内容
省路橋～相生交差点バイパス水路起点 L＝約 1,640m	掘削、護岸工、バイパス水路等
直轄管理境界～省路橋下流 L＝約 8,370m	掘削、護岸工、護床工等



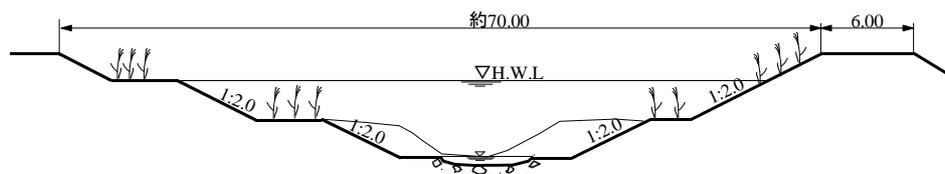
濁川計画流量配分図



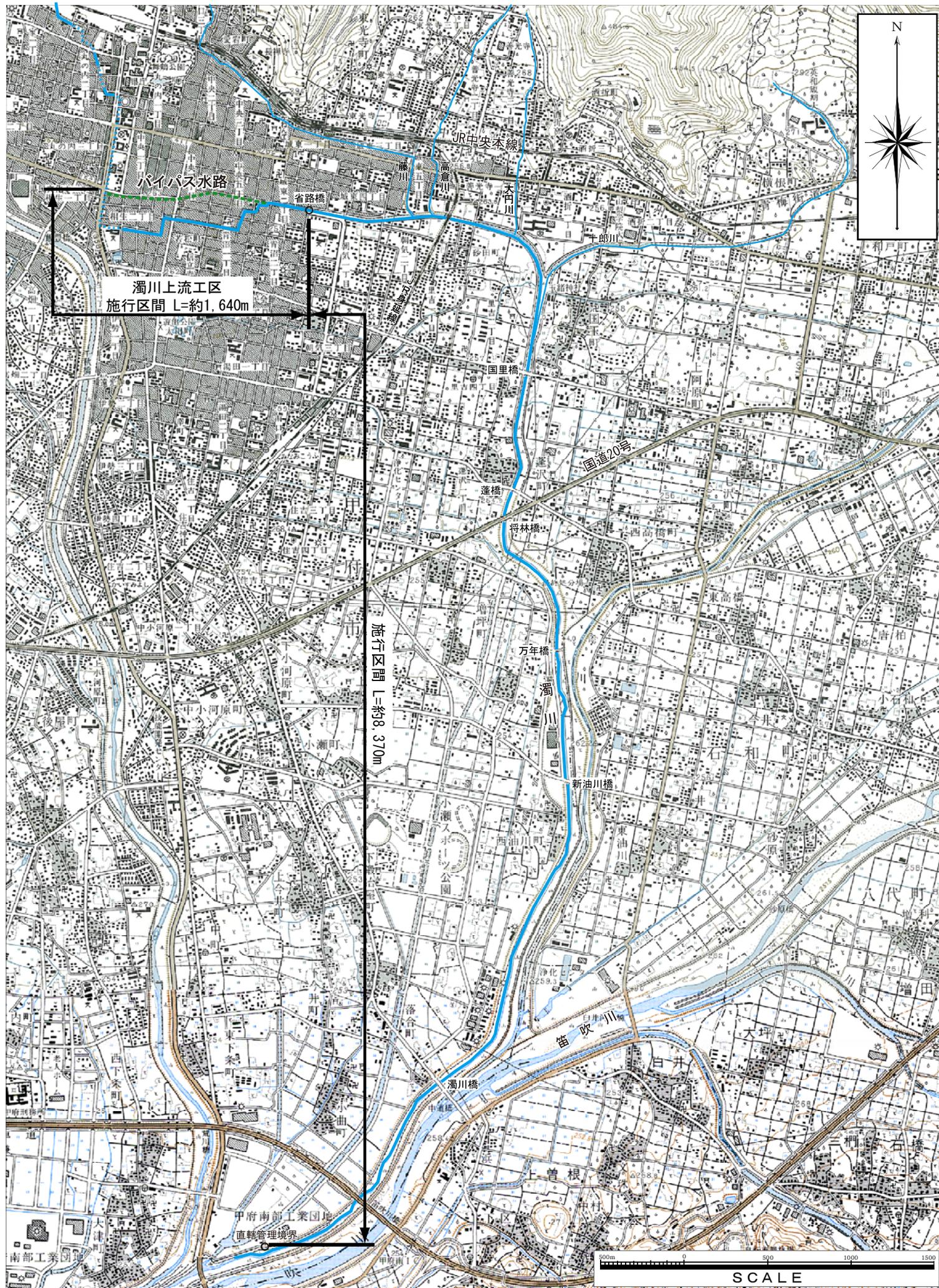
「省路橋」上流



河道拡幅区間上流バイパス水路



「濁川橋」付近



河川工事の施行位置図（濁川）